



# クラスだより

第2号

令和2年度 れんげ組

R2年7月28日

寝屋川なかよし保育園 第2寝屋川なかよし保育園

新型コロナウイルスの心配を抱えながらも登園自粛が解除され、2か月がたとうとしています。クラスでは、引き続き感染予防に努めながら、楽しい園生活が送れるよう工夫していききたいと思います。

クラス懇談会や個人懇談が中止となり、お便りにてクラスの様子をお知らせします。

## ☆クラスの状況

歩行が確立し自由に動けることで、探索活動が活発になり、いろいろなものを試し、遊んでいます。かごに入っている玩具は、とりあえずひっくり返したり投げたりするため部屋中に散乱することもあります。タッパーやボウルに入れ食べ物に見立てるなど集中して遊ぶことも出来ます。次の活動へ移るときに「おしまいにしようね」と声をかけて一緒に片づけをしながら少しずつ身につけていけるようにしています。

友だちの名前と顔が一致し手招きで遊びに誘ったり、物のやり取りなど関わり遊びも増えています。

## ☆排泄の自立

- 1、おしっこの間隔があいてくる
- 2、紙パンツ交換時に濡れていないことが増えてくる
- 3、1回の尿の量が多くなる

個人差がとても大きいので、上記を目安に子どものペースに合わせて無理せずトイレに座るようにしていきます。パンツへの移行時期については、個々に保護者の方に相談させていただきます。



## 楽しい水遊び

バケツや容器で水をすくってタライからタライへ移したり、浮き玩具を浮かべて遊んでいます。遊びの中で、水が手に当たる感触や、水の流れる様子、量や、重さなどが感じられるよう工夫をしています。



## カブトムシを飼育中

昼間は、腐葉土の下で休息しているカブトムシが動くのか確かめたくて、虫かごを叩いたり揺らしたりする子ども達。どうしても気になるようなので外に出してみました。大きな角と前後に激しく動く足を見て、後ずさりしていました。今では、「そーっと」と言いながら、虫かごを覗くのが日課になっています。

## ☆自我の芽生え

・「自分でズボン履ける」「自分でご飯食べられる」など今まで大人の介助を必要としていたことを一人で行う姿が見られるようになってきました。そのため時間がかかることがあります。この絶好の機会を逃さず、子どもの意欲を最大限に汲み取り、自立への援助を行っていきたくて考えています。

・「私が使っていたのに!」「僕もそこで遊びたい!」「絵本を一人で見たい!」など友だちとの関わりが増えてきた中で、自分の思いを言葉で伝えることが難しく、思い通りにいかない時トラブルとなり、手が出てしまう事(時には嘔吐すること)があります。「噛まれたら痛いよ、次から〜しようね」と、次の姿に期待し、信じて振舞い方を言葉で伝えていくようにしています。

ご心配をお掛けする事もあると思いますが、ご理解の程よろしくお願い致します。



## わらべうた遊びが大好き

大人の歌声に合わせて人形にやさしくタッチしています。歌が終わると「もう1回」と仕草で示しわらべうたの輪が広がりなかなか時間が流れます。顔や体に触れるうた遊びを通して、次はどこに触ってくれるのか?と楽しみながら待ったり、自分にしてもらったことを人形や友だちにすることで関わり方を学んでいます。

## ☆クラスからのお願い

- ・日中の活動が機嫌よく出来るよう必ず朝食を摂って来て下さい。その際、十分に水分補給(お茶・牛乳等)もして下さい。
- ・自分で脱ぎ着が出来る服のご用意をお願いします(ロンパース・ぴったりの衣服は見直しを)
- ・海や山、水族館、動物園などお出かけ先で出会った動植物の写真を提供にご協力下さい。クラスで飾りたいと思っています。